

2014 年度 山形大学医学部 英語 過去問 解説

▶長文、会話文が合わせて 2 題出題されている。昨年は発音・アクセント問題も含まれていたが、今年はお題が無かった。対策は行っておきたい。

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	90 分	2 問	標準

■設問別分析

大問	区分	内容	難易度
1	会話文	語彙、指示語、和訳	標準
2	長文読解	空所補充、説明、和訳	やや難

■設問別解説

1

読みやすい分であるが、出題形式は語彙問題や、指示語の内容を示す問題、和訳問題など多様である。

[5]の和訳問題は動名詞や関係詞の省略により構造が取りづらいが、第 4 文型である。

being interested gives the people you are talking to the feeling that *they* are important and that you care about them

解説：being interested が動名詞となっており主語である。you are talking to が関係代名詞の省略により、people を修飾している。

[7]の和訳問題は drop の意味を予測しなくてはならないが、ここでは下線部の後ろの read the names との並列から「口にする、言う」と訳す。

2

注がついているため語彙は心配ないが、語法の知識を問う問題が多いので対策を行っておく。

和訳問題では deceive A into ~ing が受動態で出されているが、この意味は persuade A into ~ing と同様と予測して訳を作る。